

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもねっとおおあさ				公表日	2025年 3月 29日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	・時々部屋のスペースと合わないくらい人数が多い時もありますが、職員同士で声を掛け合い、空間や設備を工夫して使用していると感じています。 ・スペースを職員間で事前に話し合う。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	・子どもにとって目で見えやすい部屋の構造になっています。 事業所内の設備は、療育中でも密な話ができるような仕切り等があるため、適切な配慮がされていると感じています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	子どもにとって目で見えやすい部屋の構造になっています。 事業所内の設備は、療育中でも密な話ができるような仕切り等があるため、適切な配慮がされていると感じています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	複数の療育が重なっている時は、子どもの特性に合わせ、声を掛け合いながら個室を使って療育することができています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	2			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4		第三者による外部評価を行っているのか否かも存じ上げないので、もし行っているのであれば、職員間でその情報を共有できる環境にしていく必要があると思います。 →年に一度自己評価アンケートを保護者の方、訪問先の方にご協力をお願いしています。HPIに掲載していますが、会議等でも共有します。	

	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1		<ul style="list-style-type: none"> ・研修の情報を都度共有していただいているので、そういった機会の確保はされています。 ・【改善点】外部研修、スキルアップ研修等の機会が少ない →社内では研修受講費用補助制度があります。活用していきましょう。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	毎日、全員の記録をファイリングし、他の職員も閲覧できるようになっているので問題はないと感じています。支援プログラムについては、個別支援計画をもとに作成しているので大きな問題はないと感じています。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	1	子どもの成長や新たな気づき等、全員ではありませんが、職員間で共有しながら計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	必ず毎回全員が参加しての共有ではありませんが、最善の利益を考慮した検討が行われていると感じています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	新しい支援計画に切り替わった時の周知は足りないと考えていますが、大体の職員が計画に沿って支援が行われていると思います。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	2	作成する職員がその都度確認しながら、特性に合わせた項目・詳しい内容で設定されています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	2	個別療育なので、主に個別に行っています。合同での活動が必要な子がいた場合には、職員間で声を掛け合い、一部の活動プログラムを合同で立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	変化点があるときは他職員に伝えるようにしている。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援なので、打ち合わせを行うことはありませんが、同じ時間に利用しているお友だち同士で集団活動を行う場合には、その都度話し合いをしています。 ・必ず(は)できていないが、気になるお子さんは事前に情報収集し共有し合っている。 	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	6		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1	何人かの職員間で、定期的に見直しがされています。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		

関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	個別支援計画を通して、その子についての情報共有や保育所等訪問支援の際に園の先生から聞いた普段の様子を通して情報共有しているため、相互理解につながっていると感じています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	2		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	4		
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		こちらからは記録を書いて普段の様子をお伝えしていますが、保護者の方から普段の様子を聞く機会が少ないので、もう少し伝え合う機会があってもいいのではないかと感じています。 →保護者面談の内容や様子を詳しく共有していきます。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	親子で参加できるリトミックが、家族支援につながる機会になっているのではと感じています。		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	1		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		子育ての悩みなどを打ち明ける場が、もう少しあってもいいのではないかと感じています。 →定期的な面談の他にも、悩みがある家庭とは今後も面談を重ねていきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0		

	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	1		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	1		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	3		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	2		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人ファイルを見ることで、病歴などを確認しています。 服薬や予防接種の状況については、保護者からの連絡が無ければ確認できていません。 ・ 保護者からお聞きした病歴については個人ファイルに目につくように添付し、対応方法も書かれています。 	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	4	おやつを提供する際にはアレルギーが無いかを確認し、その子に合わせた対応をしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	3		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	2		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0		